

やった！映像部門で日本一！！

国東市ケーブルテレビ自主放送番組 一介護が限界集落を救う— 小さな山里の大きな挑戦



平成22年全国広報コンクール映像の部・総務大臣賞受賞

国東市ケーブルテレビ自主制作番組「一介護が限界集落を救う—小さな山里の大きな挑戦」(27分)が、平成22年全国広報コンクールで各部門別の最優秀作品となる総務大臣賞を受賞しました。

全国広報コンクールとは、全国の都道府県・市町村を対象とした広報誌、ウェブサイト、写真、映像、広報企画などの部門別のコンクールで、映像の部は、各都道府県のコンクールで最優秀賞を受賞した全国32作品の中から審査されました。なお、国東市の受賞は、去年の「情熱国東半島—天然ワカメを追って60年・竹永八幡郎」(映像の部・入選)に続き、2年連続の全国表彰となります。

平成22年全国広報コンクール(映像の部・結果)

特選(総務大臣賞) 国東市(大分県)「一介護が限界集落を救う— 小さな山里の大きな挑戦」

1席 西宮市(兵庫県)「まるごと市政 絆 ～みんなで支え合う認知症介護」	入選 厚木市(神奈川県)「夢を乗せて走れ!厚木育ちのサラブレッド」
2席 岐阜市(岐阜県)「あなたの街から～岐阜市～「市民ジャズ楽団」	入選 七尾市(石川県)「最高の舞台を一緒に～マクベスの舞台裏から～」
3席 米原市(滋賀県)「ふるさとの音～春照八幡神社太鼓踊り附奴振り～」	入選 下松市(山口県)「くだまつ知っちょる検定」

【作品のあらすじ】

市内でも過疎高齢化の著しい安岐町朝来(あさく)地区。高齢化率が地域全体の50%を超える、いわゆる限界集落(小規模集落)である。確実に進行する過疎化、農林業の担い手不足など、集落の存続に不安を感じる中、交流の拠点施設だった朝来小学校の「統廃合」と言う、致命的な出来事が起きた。

しかし、この出来事は住民に大きなショックを与えると同時に「このままではいけない」と言う、住民自らが、「集落・故郷の存続」を考える転機となった。

地域住民が立ち上がり、廃校舎に小規模多機能居宅介護施設「朝来サポートセンター(社会福祉法人・安岐の郷)」を誘致する事となった。この福祉施設の誘致をきっかけに、施設の「地域に根づいた活動や事業方針」によって、地域は、「新たな希望の光」を見出して行く。



▲廃校となった旧朝来小の校舎に福祉施設を誘致



▲空き教室を利用して開催される「100円居酒屋」に集う地域の皆さん

本作品をケーブルテレビで再放送します!!

◆放送期間:7月17日(土)から7月30日(金) ◆放送時刻:午前10時、午後4時、午後10時、午前1時
※国東市ホームページでも本編を視聴出来ます。

ご協力、ありがとうございました

この作品の制作にあたり、撮影やインタビューなど快くご協力くださいました安岐町朝来地区の皆さん、朝来サポートセンター利用者の皆さん、「(社)安岐の郷」高橋とし子総合施設長をはじめとしたスタッフの皆さんなど、関係者の皆様へ、心から感謝申し上げます。国東市ケーブルテレビでは、今回の受賞を励みに市内の皆さんに喜んでいただける魅力ある番組作り、また国東市の魅力をより多くの方に伝え、国東市ケーブルテレビのキャッチフレーズ「人とまちと未来をつなぐ...」を合言葉にサービスの向上に取り組んでいきます。

問い合わせ 国東市ケーブルテレビセンター(企画課情報推進班) ☎0978-73-0200